



## 激動の時代、明治維新の経済改革に学べ！！

皆様、明けましておめでとうございます。

本年も皆様のお役に立てますよう、社員一同頑張っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2017年、新しい年が明けた。

この2017年という年は丁度、明治維新から150年の節目の年に当たるそうだ。

1867年に大政奉還があり、小御所会議が開かれて王政復古、新政府が樹立された。

翌年の1868年が明治元年だが、この年に明治がスタートしたといっても過言ではない。そこから数えて今年が150年目になる。

徳川将軍家から天皇家に主権が移ったということから、これはある意味アメリカ合衆国の独立やフランス革命、ロシア革命などと肩を並べる世界を変えた革命の一つでもある。

日本という国はこの明治維新によって、それまでの260年にもおよぶ幕藩体制の眠りから目覚め、急速に近代国家へと成長し、世界のパワーバランスを大きく変えてしまった。

考えられないことだ！！凄いことである。まさに奇跡といってもいい出来事であろう。

この明治維新は長く続いた徳川幕藩体制が制度疲労を起こし、統治能力を失っていたところに黒船の来航などをきっかけにして尊王攘夷の志士たちが立ち上がり、幕府を追い詰め、倒幕、そして新政府樹立に至った。

私達の中には、そのように考えている人が沢山いるのではないだろうか？

しかし、そのような理解と認識では、その後の急速な経済成長と日本の資本主義の発展は説明することができない。明治維新は単に幕藩体制が打倒され、政権が移行したということだけではなく、壮大な経済改革でもあったのである。

歴史を細かく眺めていけば、徳川時代の半ばあたりから経済改革の素地ともいえる状況が整いつつあったことが分かる。

明治維新は黒船の来航などをきっかけにして突然起こったものではない。相当な準備期間を経て明治維新は成し遂げられたのである。外圧はその引き金になっただけの話である。

明治維新では、

- ①士農工商という身分制度の廃止
- ②廃藩置県を行って統治と徴税システムの刷新
- ③教育制度の改革
- ④流通システムと金融制度の改革

等々、抜本的な構造改革が行われたが、それに先立つ幕藩体制の中で、富山の売薬に代表されるようなクレジットシステム、お米の取引における「先物買い制度」の確立、紙幣の発行など資本主義が発展していく土壌が整備されているのである。

また、様々な藩政改革も実施されている。それらが大きな経験となり、基礎となっているのである。

明治維新は経済改革であった。世界が混迷する今こそ明治維新の経済改革に学ぶ必要がある！！

